

2020年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(春期・一般選抜) 問題

専門科目Ⅰ 日本思想史 専攻分野

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。

--

成績	績
----	---

1、今後研究しようとするテーマの思想史上的研究意義について論じなさい(20行程度)。

1. 次の①～④について簡潔に説明せよ。(各3～4行程度)。

① 末法思想

② 儒家神道

③ 日本型華夷秩序

④ 臣民

二、次の史料をわかりやすい現代語に直しなさい（30行程度）。

耶蘇教ニ聖書ト称シテ尊ブモノ、旧約全書三十九卷、新約全書二十七卷アリテ、其書ニ記スル言ヲ上帝（天主ヲ上帝ト名ケ又ハ真神ト号ス）遺詔ト名ケテ、一句一字モ加減スベカラザルモノトス。其余数百部ノ書アリテ、耶蘇教ノコノロヲ論スルモノハ、悉ク其枝末ニシテ、タトヒ此後ソノ著述ノ書、汗牛充棟ニ及ブトモ、新旧両約書ノ外ニ別教旨アルベカラズ。予旧約全書ノ首メ創世記ヨリ新約全書ノ尾リ約翰黙示録マデヲ読ニ、其教旨タゞ天主ヲ尊敬シ、耶蘇ヲ信賴スルヲ以テ、耶蘇教ノ大綱要トスルノミニシテ、修身齊家治国平天下ノ事ニ於テ、曾テ之ヲ教ユルコトアルコトナシ。^{*}天主十誠中第五ニ敬爾父母トイヒ、近ゴロ出ス小冊ニ、聖書五常撮要、聖書五倫撮要ト題シ、両約書中ニテ文句ヲ拾ヒエテ、五倫五常ニ牽強附会シタルモノアリト雖モ、其美人倫ノ正道ニアラズ。コレ妨難ヲ防ギ且ツ世人ヲ誑誘セシメ為メ仮ニ設ケタルモノニテ、耶蘇教ノ本意ニ非ズ。然ニ世人コレガ為ニ欺カレテ、耶蘇教ハ正道ナドノ唱テ自ラ惑ヒ人ヲ惑ス者少カラズ。今略シテ彼教ノ非ニシテ是ナラズ、邪ニシテ正ナラザル旨ヲ論ス。

十誠中ニ敬父母ノ言アリト雖モ、人ヲ教テ実行セシムルモノニ非ザル故ニ、耶蘇教ニテ聖人・賢者ト尊ブトコロノ亜伯拉罕・摩西・耶蘇等ノ者ニ、一人ノ孝子ト称スベキ者アルヲミズ。耶蘇十字架ニ刑セラルノトキ、母ノ馬利亞弟子ト共ニ十字架ノ傍ニ立ツ。耶蘇母ヲ視テ婦ガ爾ノ子ヲミヨトイヒ、弟子ニ向テ爾子爾ノ母ヲミヨト告グ。之ヲ以テ耶蘇ノ孝道至篤ト称スレドモ^{*}野客問難記、コレタゞ死ニ臨テ母ヲ弟子ニ託シタルマデノコトニシテ、殊ニ孝ト名クベキコトニ非ズ。且ツ耶蘇生涯ノ事蹟ヲ福音ノ四伝ニ悉ク記シタレドモ、毫モ孝ノミツベキアルコトナシ。

天主十誠：モーゼの十戒

野客問難記：未詳

【『日本近代思想大系五 宗教と国家』（岩波書店）所収の慨癡道人『護国新論』、慶応四年刊を一部改変】

（以下、解答欄）

以下の答案用紙は、下書を用に使つて下さい。

受験記号番号	
--------	--